

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●クロフネ産駒がJRA通算1100勝を達成

6月11日(土)の3回阪神3日・第8レースではウエスタンラムールが1着となり、クロフネ産駒のJRA通算勝利数は1100勝となりました。これはJRA史上12頭目の記録です。

●ショウナンパンドラが故障

2015年ジャパンカップ(GI)などの勝ち馬ショウナンパンドラ(牝5歳/栗東・高野友和厩舎)は、左第3中手骨遠位端骨折を発症していることが判明しました。休養期間は未定です。

●木幡初也騎手がフランス若手騎手招待レースに参加

ディアヌ賞(仏オークス/G1)当日の6月19日(日)、フランスのシャンティイ競馬場でおこなわれる「ロンジン・フューチャー・レーシング・スター賞(若手騎手招待レース)」に、木幡初也騎手(美浦・鹿戸雄一厩舎)がJRA代表として参加することとなりました。同レースにはイギリス、アイルランド、ドイツ、フランスから各2名、オーストラリア、南アフリカ、アメリカ、日本、トルコ、モロッコから各1名、計10か国から集った14名の騎手(25歳未満/通算3勝以上35勝以下)が騎乗を予定しています。

●エイシンヒカリが世界ナンバー1の評価を受ける

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表は2016年1月1日から6月5日までに施行された世界の主要レースが対象で、東京優駿(日本ダービー)、英ダービー、ブリークネスSなどが含まれます。ランキングトップは日本のエイシンヒカリ(129)。イスバーン賞(仏G1)の10馬身差圧勝が高く評価されたもので、日本調教馬がIFHAの発表するランキングで単独トップとなるのは一昨年のジャスタウェイ(130)以来2頭目のこととなります。第2位は前回トップタイだったカリフォルニアクロームとウインクス(126)、第4位タイも前回第3位タイだったモーリス、ナイキスト、ポストボンド、ワーザー(124)。日本調教馬ではエイシンヒカリとモーリスのほか、ドゥラメンテと日本ダービー1着のマカヒキが第11位タイ(121)、日本ダービー2着のサトノダイヤモンドが第16位タイ(120)と、計5頭が掲載されています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●関東オークス(川崎)でタイニーダンサーがJRA移籍後初勝利

関東オークス(JpnII、3歳牝馬、6月15日、川崎、2100m)は、3番手から直線入口で先頭に立った2番人気のタイニーダンサー(戸崎圭太騎手、父サウスヴィグラス)が、7番人気の伏兵ミスミランダ(船橋)に2馬身半差を付けて優勝、北海道からJRAに転入後初勝利がエーデルワイス賞、北海道2歳優駿に次ぐ3度目のダートグレード競走制覇となりました。逃げた1番人気のアルセナーレは3着、ディーズプラネットは4着、3番人気のブライトリビングは5着に敗れています。

●カツゲキキトキトが東海ダービーを圧勝【各地の主要3歳重賞】

東海ダービー(6月7日、名古屋、1900m)は、出遅れて中団に取り付いたカツゲキキトキト(牡、父スパイクユール)が4コーナー手前で一気に抜け出すと、後続を7馬身引き離し、単勝1.2倍の支持にこたえて重賞5連勝を達成。岩手ダービーダイヤモンドC(6月6日、盛岡、2000m)は、5~6番手から差を詰めた単勝1.1倍で圧倒的人気のエンパイアベガス(牡、父エンパイアメーカー)が3、4コーナー中間で先頭に立って5馬身差で圧勝、こちらは重賞3連勝を果たしました。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●ベルモントS~クリエイター差し切り勝ち、ラニは3着好走

アメリカ三冠最後の第148回ベルモントS(ダート1200m)は6月11日にニューヨークのベルモント競馬場で行われ、7番人気のクリエイター(牡3歳、父タピット)が最外13番枠発走から中位の最内で脚をためると、馬群をこじ開け、早め先頭のデスティンを外からハナ差かわして優勝。4月のG1アーカンソーダービーを含め、通算10戦3勝。勝利騎手I.オルティスJr.、調教師S.アスムッセン。晴、良馬場の勝ちタイムは2分28秒51。日本のラニ(武豊騎手、単勝13.2倍の6番人気)は、外から追い込み、2着馬から1馬身1/2差3着。1~3着はすべて芦毛馬です。

●アメリカ移籍のプリントシャー、休み明けも強豪ぶり健在

ベルモントSの1レース前に行われたマンハッタンS(芝1000m)はフランスからニューヨークのC.ブラウン厩舎へ移籍したプリントシャー(牡6歳、父ダンシリ)が好位の外から抜け出し、断然人気に応えました。良馬場の勝ちタイムは1分58秒92。勝利騎手J.カステリャーノ。これでG1・4勝目です。